

病虫害発生予察情報

7 月月報

平成 22 年 8 月 11 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

2010 年 7 月	気 温 ()						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	30.3	3.3	22.4	2.6	25.7	2.5	32.0	52	34.4	94
中旬	31.2	3.1	22.9	1.7	26.9	2.6	8.0	17	59.5	175
下旬	34.2	3.8	24.8	2.1	28.8	2.7	18.5	30	91.1	136
平均	32.0	3.5	23.4	2.2	27.2	2.7				
合計							58.5	34	185.0	131

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上・中旬は高く、下旬はかなり高かった。

降 水 量：上・下旬は平年並、中旬は少なかった。

日照時間：上旬は平年並、中・下旬は多かった。

<天候概況>

上旬：本州の南岸に停滞した梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。8 日と 10 日は梅雨前線が本州から南に離れたため、概ね晴れた。

中旬：11 日から 13 日にかけては梅雨前線の影響で曇りや雨となった。14 日から 16 日にかけては太平洋高気圧の縁にあたったため南からの湿った気流が流れ込み変わりやすい天気となった。17 日以降は太平洋高気圧に覆われて概ね晴れた。なお、関東甲信地方は 7 月 17 日ごろ梅雨明けしたとみられる。

下旬：21 日から 28 日にかけては太平洋高気圧に覆われて概ね晴れたが、24 日と 26 日の夜は大気の状態が不安定となり、雷が観測された。29 日以降は南からの暖かく湿った気流の影響で雨や曇りの天気となった。また、21 日から 24 日にかけて 4 日連続で猛暑日となり、統計開始(1961 年)以降、これまでの連続記録(1978 年と 1994 年)と並んだ。

2 作物生育概況

(1) イネ

生育や分けつの発生など、概ね順調であった。いもち病の発生はみられなかった。

(2) 野菜類

果菜類：果菜類は概ね順調であったが、梅雨明け後の高温によりトマトでは裂果や日焼け果などの障害果の発生がみられた。ナスは概ね順調であった。抑制トマトでは一部の地域で高温の影響で葉先が焼けるなどの症状がみられた。エダマメ、スイートコーンの生育は概ね順調であったが、一部の地域で乾燥によるエダマメの葉枯れがみられた。

葉根菜類：コマツナは梅雨明け後の高温の影響で、一部の地域で葉先の焼けがみられた。

ニンジン乾燥のため、播種ができない生産者がみられた。

いも類：サツマイモの生育は概ね順調であった。サトイモは灌水を行っていない圃場では乾燥の影響により葉の枯れあがりが見られた。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおり。

幸水：例年よりも1週間程度肥大が遅れている。

あけみず：平年よりも3日ほど収穫が遅れる見込みである。

(4) 茶樹

チャノミドリヒメヨコバイの発生がやや多かった。

その他の生育状況はほぼ順調であった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病（平野部）	< やや少 >	発生はやや少なかった。
いもち病（山間部）	< 少 >	発生は少なかった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
斑点米カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

チャパネアオカメムシ	< やや多 >	果樹園への飛来は少なかった。 フェロモントラップと予察灯の誘殺数は多かった。
クサギカメムシ	< やや多 >	果樹園への飛来は少なかった。 予察灯誘殺数は多かった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。

白ぶくれ症	< やや多 >	発生はやや多かった。
オンシツコナジラミ	< やや多 >	発生はやや多かった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
斑点細菌病	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
半身萎凋病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
エダマメ		
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ダイズサヤタマバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ダイズサヤムシガ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キスジノミハムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギ		
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
 (5) 花きの病害虫		
シクラメン		
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
 (6) 植木の病害虫		
街路樹など		
チャドクガ	< 少 >	発生は少なかった。
トチノキヒメヨコバイ	< 並 >	発生は平年並であった。
プラタナスグンバイ	< 並 >	発生は平年並であった。

(7) 島しょの病害虫

大 島：アシタバでハナウドモグリガ、ブバルディアで立枯病、トルコギキョウで根腐病の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	7月7日	8月4日	0	0
大田市場	7月7日	8月4日	0	0
板橋市場	7月7日	8月4日	0	0
淀橋市場	7月7日	8月4日	0	0
北足立青果市場	7月7日	8月4日	0	0
小平青果市場	7月9日	8月9日	0	0
八王子北野市場	7月9日	8月9日	0	0
昭島市場	7月9日	8月9日	0	0
国立市場	7月9日	8月9日	0	0
東久留米市場	7月9日	8月9日	0	0
備考：東久留米市場のウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップで、ミスジミバエ雄2頭が誘殺された。				

テレフォンサービス

0 4 2 (5 2 5) 8 4 0 7

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法
などをお知らせしています。